

令和2年度 奥州市一般会計当初予算案について

「協働のまちづくりの定着」と「行政経営改革の着実な推進」に努めることを基本の方針と定め編成。

- ▶奥州市総合計画に掲載している事業について、事業費及び財源を精査し、最も効率的な手法により確実に推進する。
- ▶新規事業の構築や既存事業の見直しに当たっては「協働のまちづくり」の理念に基づき方策を検討した上で事業化する。
- ▶行政経営改革プランに掲載している実施項目の着実な実施に取り組む。

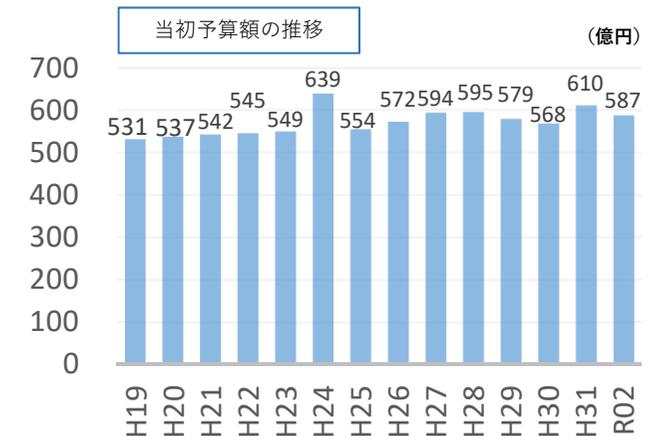


1 予算規模

	令和2年度	平成31年度	増減額	伸び率
予算総額	58,723,900	61,021,000	△2,297,100	△3.8
うち一般財源額	40,808,996	41,625,220	△816,224	△2.0

(千円・%)

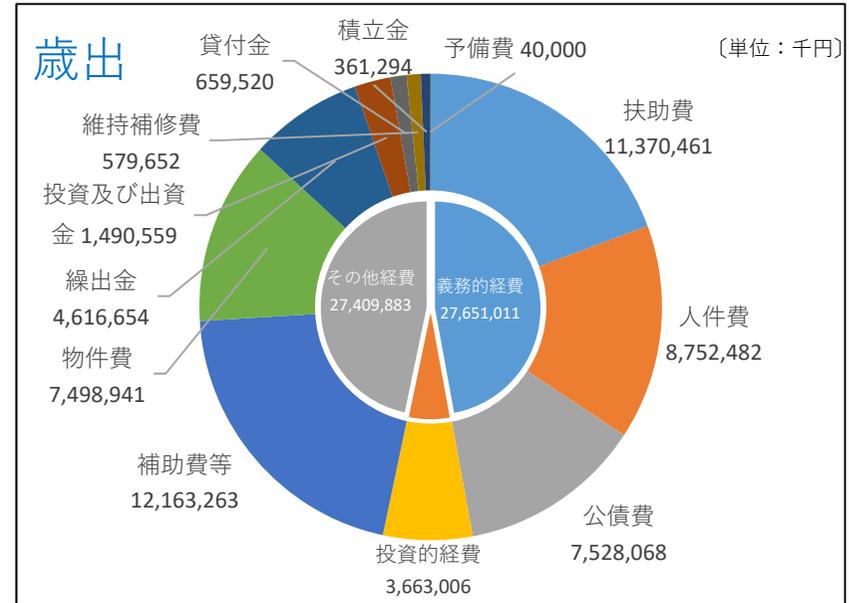
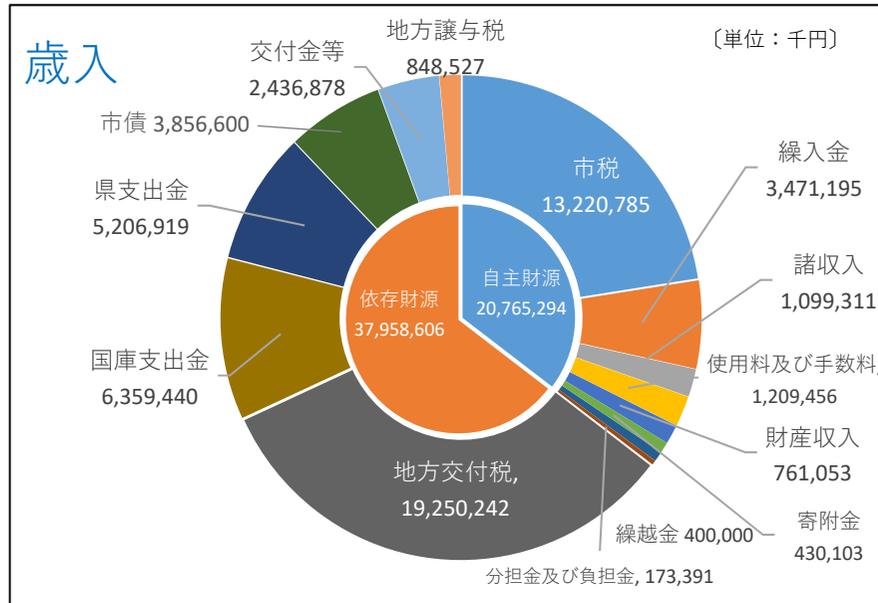
令和2年度予算総額は、新たな歳出の増要因(※)があったものの、ごみ焼却施設長寿命化事業(R01:約30.7億円⇒R02:約17.6億円)の影響や予算編成において枠配分方式による歳出規模の抑制に取り組んだことなどにより、前年度と比較して約23億円(3.8%)の減となった。
 ※下水道事業法適用に伴う出資金(留保資金)の増(約5.3億円)、会計年度任用職員制度の運用開始に伴う人件費の増(約2.7億円)など



※H22・H26・H30の当初予算は骨格予算のため6月補正後の予算額としています。

2 歳入及び歳出の概要

令和2年度当初予算総額 58,723,900千円



- ▶市税は、直近の景気動向と税制改正（法人税割の税率引き下げ）に伴う減などを見込み1.6%の減。
- ▶繰入金は財源不足に対応するため財政調整基金繰入金の増などにより29.1%の増。
- ▶寄附金はふるさと応援寄附金の増により7.5%の増。
- ▶普通交付税は、合併算定替えの段階的な削減等を勘案しつつ、子ども・子育て臨時交付金が交付金等から組替えとなったことなどにより2.3%の増。
- ▶特別交付税は奥州金ヶ崎行政事務組合が実施するごみ焼却施設長寿命化事業に関する震災復興特別交付税の減などにより38.7%の減。
- ▶市債は、投資的経費の減と連動して27.9%の減。

- ▶公債費は4.9%の減となったものの、人件費や扶助費などが増となり、義務的経費全体としては、4.2%の増。
- ▶投資的経費は江刺第一中学校屋内運動場改築工事などがあるものの、全体としては30.6%の減。
- ▶補助費等は下水道事業法適化に伴う負担金の増などにより5.3%の増。
- ▶物件費は会計年度任用職員の運用開始に伴う人件費への区分変更などにより15.5%の減。
- ▶投資及び出資金は下水道事業法適化に伴う出資金の増などにより226.3%の増。

3 重点的に予算を配分した主な事業

◎ 市政発展のための戦略プロジェクト

※事業の概要はP.18～19の「総合戦略事業」一覧参照

▶ 「誇りと幸せを実感できるまちづくり」～人口プロジェクト～	164,047 千円
・ 安定した雇用と新しい産業の創出 (観光客誘致促進事業、6次産業化・地産地消推進事業、ブランド牛生産拡大事業など)	うち 78,350 千円
・ 出会いを通じた結婚支援、子育て環境ナンバーワンへ (保育士等確保緊急対策事業、医療介護従事者修学資金貸付事業、妊産婦タクシー乗車券給付事業など)	うち 35,330 千円
・ 体験を通じた新たな奥州ファンの開拓 (移住・定住促進事業など)	うち 7,570 千円
・ 地域愛の醸成と、安心・安全に生活できる個性豊かな地域社会の実現 (いわて奥州きらめきマラソン運営事業、協働の提案テーブル実践事業など)	うち 42,797 千円

※金額右のNOはP.5の主な事業のNOと一致

▶ 「世界へ発信するまちづくり」～ILCプロジェクト～ (I L C 推進事業)	9,928 千円	7
---	----------	---

◎ 総合計画・施策の大綱別事業

※金額右のNoはP.5～17の主な事業のNoと一致

▶ みんなで創る生きがいあふれるまちづくり		
・ 地区センター管理運営事業 (地区センター指定管理料分)	332,372 千円	18
・ ふるさと応援寄附事業	226,543 千円	6
・ 地域づくり推進事業 (協働のまちづくり交付金等)	220,608 千円	20
・ カヌー競技推進事業	17,996 千円	10
▶ 未来を拓く人を育てる学びのまちづくり		
・ 江刺第一中学校屋内運動場改築事業	301,601 千円	180
・ 建造物等保存管理事業 (旧後藤正治郎家住宅修繕工事ほか)	55,613 千円	189
・ 中学校スクールバス更新事業	40,638 千円	175

※金額右のNoはP.5～17の主な事業の番号と一致

▶健康で安心して暮らせるまちづくり

・子ども医療費給付事業	316,916 千円	46
・生活困窮者自立相談支援事業	29,381 千円	61

▶豊かさと魅力あるまちづくり

・土地改良事業（前沢水路合流部の改修工事）	118,597 千円	108
・工業団地整備事業特別会計の新設（新工業団地測量業務）	(16,100) 千円	-

※一般会計からの歳出は無し

▶環境にやさしい安全・安心なまちづくり

・ごみ及びし尿処理施設運営等負担事業（ごみ焼却施設長寿命化事業への負担など）	2,479,753 千円	80
・消防施設設備整備事業	99,016 千円	164
・空き家対策事業	6,505 千円	77
・地区内交通運行事業	5,447 千円	24

▶都市環境・生活空間などの整備による住みよいまちづくり

・社会資本整備総合交付金事業（道路改良工事、通学路改善等）	507,200 千円	149・150
・都市基盤長寿命化事業（道路、橋りょう、公園など）	438,786 千円	148・153・157・160

4 基礎的財政収支（プライマリーバランス）の状況

予算上のプライマリーバランスは市債の抑制により約3億円の黒字となり、起債残高は年度末比較で33億円の減となる見込み。

$$(1) (\text{歳入総額} - \text{地方債発行額} \cdot \text{基金等取崩額等}) - (\text{歳出総額} - \text{地方債元利償還額等}) = 304\text{百万円}$$

$$(2) \text{借入予定額} (38.6\text{億円}) - \text{償還元金} (71.6\text{億円}) = \Delta 33\text{億円}$$

$$\diamond \text{令和元年度末} \cdot \text{起債残高見込額} \quad 668.3\text{億円} \quad \diamond \text{令和2年度末} \cdot \text{起債残高見込額} \quad 635.3\text{億円}$$